

特集 盛岡市の予算

交流が拓く 活力あふれる 未来予算

当初予算の概要

本年度は、市が目指すまちの将来像「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」の実現に向け、右の5つの視点のもとで予算の編成を進めました。また、3つの戦略プロジェクトに予算を重点配分するとともに、市民サービスの向上と充実を図るため、必要な経費の予算化に努めました。



予算編成 5つの視点

- 1 これまで積み重ねてきた国内外の都市との交流をさらに充実・発展させ、盛岡の価値や魅力を市の内外に発信する
- 2 若い世代や子育て世代が安心して暮らすための施策を拡充する
- 3 産業基盤の安定化や盛岡産農畜産物の魅力発信、高付加価値化により、産業の振興や働く場所の創出に努める
- 4 交流人口対策の推進により、にぎわいがあふれるまちづくりに取り組む
- 5 市民生活の利便性向上につながる、社会基盤としての公共交通の充実を図る

予算総額

一般会計 1148億9000万円

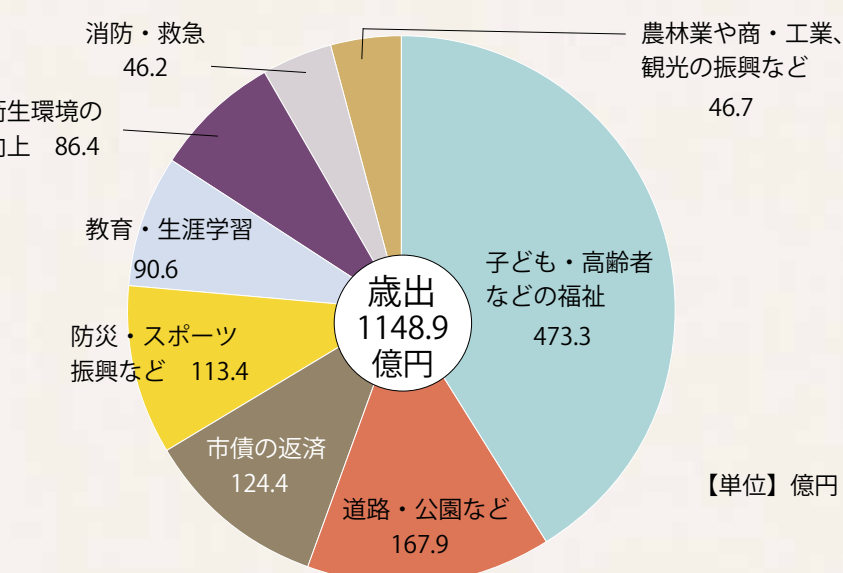
特別会計 577億8306万円
(11会計)

一般会計は、第2子以降の保育料軽減などの子ども・子育て応援事業や、障がい者の自立支援事業などの社会保障関係経費が、昨年度に引き続き増加したほか、盛岡バスセンターや学校給食センターの整備などにより、予算総額が前年度比33億6000万円（3.0%）増の1148億9000万円となりました。11年連続で1000億円を超え、過去最大の予算規模です。

特別会計は、介護保険の施設入所者などの増加や、道明地区にある新産業等用地の造成・工事費用などの増加により、11会計の合計で、前年度比14億3798万円（2.6%）増の577億8300万円となりました。

歳出

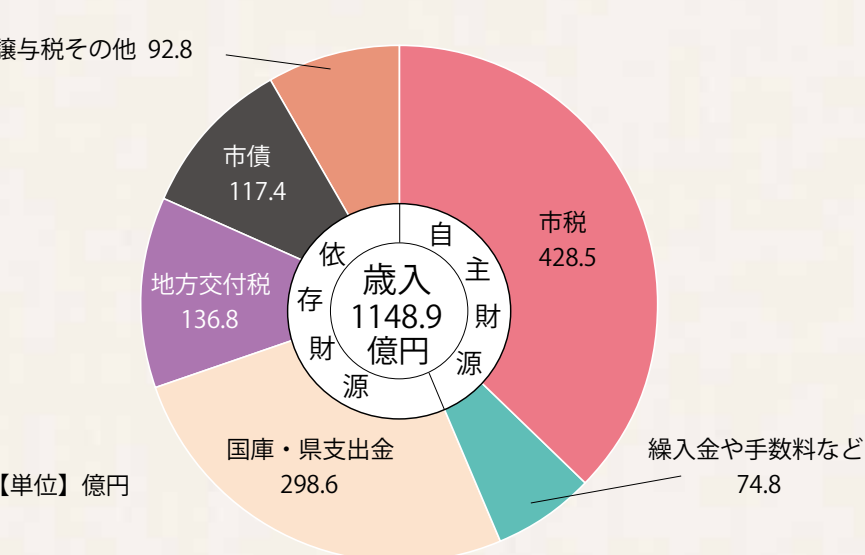
最も多いのは、子どもや高齢者などの福祉に必要な経費。第2子以降の保育料軽減のための補助や、障がい者の介護給付費などの増加により、前年度と比較し、5億5117万円（1.2%）増加しました。次いで、道路や公園の整備などに必要な経費で、9億6116万円（6.1%）増加しました。教育・生涯学習に要する経費では、学校給食センターや学校施設の整備や大規模改修により、7億648万円（8.5%）増加しました。



【単位】億円

歳入

市税は、個人市民税の増収や、新築家屋の建築数の増加による固定資産税の増収を見込む一方、税制改正の影響による法人市民税の減収などを見込み、前年度と比較し、3億142万円（0.7%）減少しました。国庫・県支出金は、幼児教育・保育の無償化による扶助費への負担金の増額や個人番号カード交付のための補助金の増額などにより、前年度と比べて10億4776万円（3.6%）増加しました。



【単位】億円

市の財政の健全性を確保

本年度末の一般会計における市債の残高は、盛岡南公園野球場整備事業や学校給食センター建設事業、旧清掃工場施設解体事業の実施などにより、新たに発行する市債が増え、前年度比1億7448万円増の1317億2911万円となる見込みです。市の貯金

である基金は、公共施設等整備基金から8億3804万円、財政調整基金から12億7855万円を繰り入れ（取り崩し）しました。今後も、地震や大雨災害などの不測の事態にも対応できる適正な基金規模を維持しながら、効果的に活用します。

総合計画の4つの基本目標

目指す将来像の実現のため、まちづくりの理念や方向性を示す4つの基本目標を設定しています。今年度、特に力を入れる事業とその予算額は次のとおりです。

1 人がいきいきと暮らすまちづくり

- ▶ 予防接種の実施 8億8680万円
 - ▶ 感染症予防対策の実施 1億1709万円
 - ▶ 盛岡広域成年後見センター設置運営 2430万円
 - ▶ アウトリーチ支援員※の配置 388万円
 - ▶ 地域再犯防止推進計画策定 387万円
- ※引きこもりなどで孤立に苦しむ人を個別に訪問し、就労をサポートする人

3 人を育み未来につなぐまちづくり

- ▶ 飯岡小学校の整備 4億694万円
- ▶ 学校給食センターの建設 2億2276万円
- ▶ 若者の就業支援 1735万円
- ▶ プログラミング教育用教材購入 657万円

2 盛岡の魅力があふれるまちづくり

- ▶ 盛岡南公園野球場の建設 1億1858万円
- ▶ 都市計画マスタープラン策定 900万円

4 人が集い活力を生むまちづくり

- ▶ JR田沢湖線新駅の整備 2億3499万円
- ▶ 盛岡バスセンターの整備 1億5675万円
- ▶ 岩手飯岡駅東西線自由通路の整備 1億3800万円
- ▶ 森林経営管理の推進 5830万円
- ▶ 農業基盤の整備 4114万円
- ▶ 動物公園のゾウ人工授精、キリン繁殖のための輸送 700万円

公共施設保有最適化・長寿命化計画等

市が保有する施設の「最適化」と「長寿命化※」の2つを柱に、本当に必要な施設を取捨選択し、持続可能な市民サービスの提供を目指します。

- ▶ 仁王小・大新小・城西中・北陵中の校舎の長寿命化改修 14億4837万円
- ▶ 市営住宅の改修 6億104万円
- ▶ 総合プールの改修 5億3381万円

※長寿命化とは、建物を80年間使い続けることを目指し、費用を抑えながら施設を長持ちさせるための改修工事のことだよ

石割さくらこ

市の施設を効果的・効率的に管理する方法（アセットマネジメント）を紹介するキャラクター



重点的に取り組む施策

NEW
未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト 11億7855万円

若者を中心とした、盛岡で働く人と場をつくるため、産業基盤の安定化、地場産業の魅力の向上、経営基盤強化のための支援をします。



新規

- ▶ 新たな産業集積や企業誘致のための意向調査 200万円
- ▶ ワークライフバランスの実現による魅力ある職場づくりを支援 110万円
- ▶ スマート農業導入への補助やりんご剪定作業の担い手の確保 350万円

拡充

- ▶ 成長産業に位置付けている医療福祉機器製造業などの拠点形成を支援 3323万円
- ▶ 盛岡産農畜産物の魅力発信や6次産業化を支援 2520万円

継続

- ▶ 道明地区の新産業等用地を整備 9億6268万円

みんなが支える子ども・子育て安心プロジェクト 19億5722万円

子育て世代が希望を持って子どもを産み、育てることができるよう、さまざまな保育ニーズに応え、子育て環境の充実を図ります。

新規

- ▶ 第2子以降の保育料無償化と副食費の助成、放課後児童クラブ利用の軽減 2億9159万円
- ▶ （仮称）向中野児童センターの基本設計など 601万円
- ▶ 障がい児の相談窓口を設置 480万円

拡充

- ▶ 中学生医療費の現物給付 8649万円



2020あつまる・つながるまちプロジェクト 2億536万円

観光資源のブラッシュアップや外国人観光客の受け入れ環境の整備などで交流人口を増やし、まちのにぎわいを生み出します。



過去の盛岡文士劇東京公演の様子

新規

- ▶ つなぎ温泉での盛岡伝統芸能常設公演経費の助成 570万円
- ▶ 友好都市文京区での盛岡文士劇東京公演の開催 500万円

拡充

- ▶ マーケティングや広報の専門人材を活用したシティプロモーション 1238万円

継続

- ▶ いわて盛岡シティマラソンの開催 3000万円
- ▶ 移住・定住促進の情報発信や相談体制を強化 2131万円

新型コロナウイルス感染症

緊急経済対策

【問】①ものづくり推進課 ☎626-7538
②③④経済企画課 ☎613-8298

新型コロナウイルス感染症に対する市独自の緊急経済対策として、当初予算に加え、次のような事業を検討しています。詳細は決まり次第お知らせします。

- ①事業者の資金繰りへの支援
- ②雇用の維持への支援
- ③経済活動の維持への支援
- ④勤労者の生活資金への支援